

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-161424

(43)Date of publication of application : 19.06.2001

(51)Int.Cl.

A45C 11/00
H04M 1/02
H04M 1/11

(21)Application number : 11-353153

(71)Applicant : KANEKO MASARU

(22)Date of filing : 13.12.1999

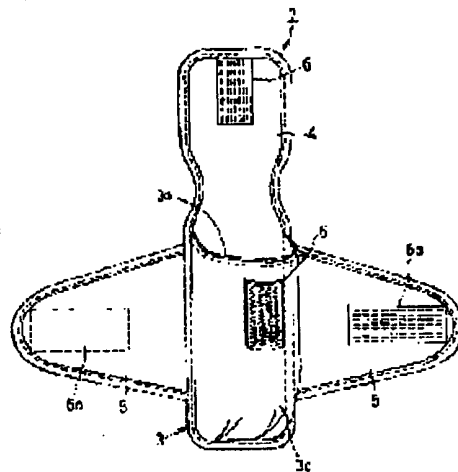
(72)Inventor : KANEKO MASARU

(54) PORTABLE TELEPHONE BAG

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable telephone with convenience for carrying and using by wearing a bag storing the portable telephone to an arm and a wrist of a person.

SOLUTION: This bag 3 has an opening portion 3a in the upper face for storing the portable telephone 2. This is so constituted that a cover body 4 is extended from the upper face opening portion of the bag 3 to the upward, velvet fasteners 6, 6 are attached to the rear face of the cover body 4 and the front face of the bag 3 respectively, and symmetrical-shape lock belts 4 are projected in the both sides of the bag 3 so that the portable telephone bag with the velvet fasteners 6, 6 in the front face of one lock belt 4 and the rear face of the other lock belt 4 respectively is provided.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-161424

(P2001-161424A)

(43) 公開日 平成13年6月19日 (2001. 6. 19)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テーム(参考)

A 4 5 C 11/00

A 4 5 C 11/00

E 5 K 0 2 3

H 0 4 M 1/02

H 0 4 M 1/02

C

1/11

1/11

Z

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-353153

(22) 出願日 平成11年12月13日 (1999. 12. 13)

(71) 出願人 593206458

金子 大

東京都品川区西五反田4-9-8

(72) 発明者 金子 大

東京都品川区西五反田4-9-8

(74) 代理人 100060575

弁理士 林 孝吉

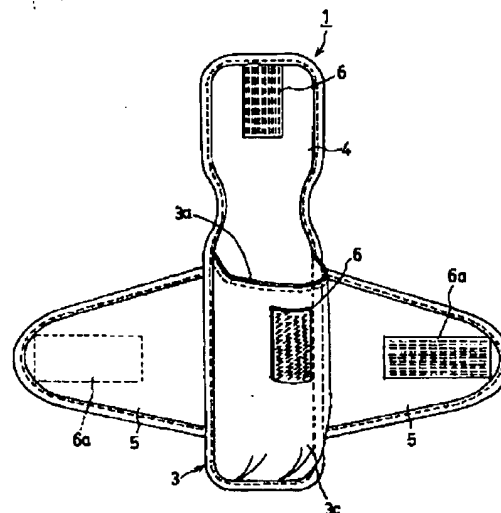
Fターム(参考) 5K023 AA07 BB02 BB11 MM03 QQ00

(54) 【発明の名称】 携帯電話袋

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話を収容した袋を人間の腕や手首等に取付けて携帯電話の携行及び使用に便宜を付与する。

【解決手段】 この発明は、携帯電話2を収容できる上面に開口部3aを有する袋部3であって、該袋部3の上面開口部から上方へ蓋体4を延設し、該蓋体4の裏面及び前記袋部3の正面に夫々ベルベットファスナー6、6を取付け、更に、該袋部3の両側に対象形の止着帯4を突設し、片方の止着帯4の正面及び他方の止着帯4の裏面に夫々ベルベットファスナー6、6を取付けた携帯電話袋を提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話を収容できる上面に開口部を有する袋部であって、該袋部の上面開口部から上方へ蓋体を延設し、該蓋体の裏面及び前記袋部の正面に夫々ベルベットファスナーを取付け、更に、該袋部の両側に対象形の止着帯を突設し、片方の止着帯の正面及び他方の止着帯の裏面に夫々ベルベットファスナーを取付けたことを特徴とする携帯電話袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は携帯電話袋に関するものであり、特に、作業時等に於いて腕に巻装できるようにした携帯電話袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】従来の此種携帯電話袋は嘗て存在しない。そこで、作業時或いは自転車等に乗っているとき、例えば時計の巻装位置と同位置の腕等に携帯電話を収容した袋を取付けて、携帯電話の携行及び使用に便宜を付与するために解決すべき技術的課題が生じてくるのであり、本発明は該課題を解決

【0003】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために提案されたものであり、携帯電話を収容できる上面に開口部を有する袋部であって、該袋部の上面開口部から上方へ蓋体を延設し、該蓋体の裏面及び前記袋部の正面に夫々ベルベットファスナーを取付け、更に、該袋部の両側に対象形の止着帯を突設し、片方の止着帯の正面及び他方の止着帯の裏面に夫々ベルベットファスナーを取付けた携帯電話袋を提供するものである。

【0004】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図1乃至図4に従って詳述する。図に於いて1は携帯電話袋を示す。該携帯電話袋1は携帯電話2を収容するための上面に開口部3aを有する袋部3と、該袋部3の前記開口部3aから上方へ延設された蓋体4と、該袋部3の両側に突設された止着帯5、5とから成る。

【0005】而して、該袋部3の後方生地3bと蓋体4とは一枚の布地にて一体に形成されるを可とする。そして、該袋部3の前記後方生地3bの周縁部に前方生地3cを縫着し、上方部に前記開口部3aを設けて袋部3を構成すると共に、該開口部3aを閉塞するための前記蓋体4を形成する。而して、該蓋体4の内側面及び前記袋部3の前方生地3cの表面には夫々ベルベットファスナー6、6が装着されており、該蓋体4を袋部3の開口部3a近傍から前方へ折曲して袋部3に重ね、そして、夫々の前記ベルベットファスナー6、6に係合することにより、蓋体4は袋部3の前記開口部3aを閉塞し、そして、該閉塞状態を保持することができる。従って、該袋部3の開口部3aから携帯電話2を該携帯電話袋1に入

れ、そして、蓋体4にて該開口部3aを閉塞して携行するとき、該携帯電話2は該袋部3から不慮妄脱するようなことはない。

【0006】又、該袋部3の両側には対象形の止着帯5、5が突設されているのであるが、該止着帯5、5は人間の腕や手首等に巻装できる形状及び長さを有することは当然である。更に、之等止着帯5、5は人間の腕や手首或いはカバン等の把手部分に任意に巻装し、そして、該巻装状態を保持するために片方の止着帯5（図1に於いては右側）の表面及び他方の止着帯（図1に於いては左側）の裏面に夫々ベルベットファスナー6a、6aを装着して、双方のベルベットファスナー6a、6aに係合することによって前記巻装状態が保持される。従って、携帯電話2を収容した携帯電話袋1が前記腕等に対して巻装された状態が保持されて不慮妄脱するようなことはなく、安全に携帯電話を携行することが可能となり、又、作業時又は自転車に乗って走行しているとき、或いは歩行中等に於いて、該携帯電話袋1の袋部3に収容されている携帯電話2の取出し操作が容易迅速に行われるので、携帯電話2の使用に便宜を付与し、且つ、不使用時に於いては該携帯電話2を携帯電話袋1の袋部3に収容し、蓋体4にて閉塞してベルベットファスナー6、6にて該閉塞状態を保持すると共に、両側の止着帯5、5を腕等に巻装して前述したように夫々のベルベットファスナー6a、6aに係合することにより、該巻装状態が強固に保持されるので、携帯電話2の収容及び取出し操作が極めて容易且つ、迅速に行われる。

【0007】尚、本発明は材質等は特定されるべきではない。その他、本発明は、本発明の精神を逸脱しない限り種々の改変を為すことができ、そして、本発明が該改変されたものに及ぶことは当然である。

【0008】

【発明の効果】本発明は上記一実施の形態にて詳述したように、袋部に設けた開口部から携帯電話を該袋部に収容して蓋体にて閉塞し、そして、双方のベルベットファスナーの係合によって該開口部の閉塞状態を保持すると共に、袋部の両側に突設した止着帯を人間の腕或いは手首又はカバンの把手等に巻装して、該携帯電話を収容した携帯電話袋を携行すれば、例えば作業時或いは自転車等に乗っているとき等、該携帯電話の携行及び使用が極めて便利となり、且つ、取扱いも容易迅速に行うことができる等、正に著大なる効果を奏する発明である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示し、携帯電話袋の正面図。

【図2】図1の携帯電話袋の蓋体にて携帯電話袋の開口部を閉塞し、そして、両側の止着帯を巻装した状態を示す正面図。

【図3】図2の左側面図。

【図4】図2のA-A線断面図。

(3)

特開2001-161424

3

4

【符号の説明】

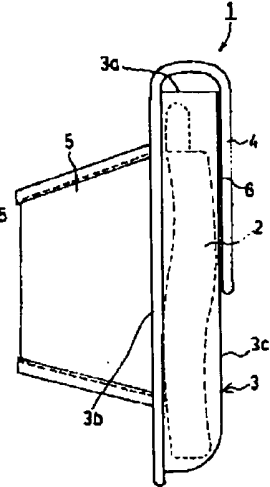
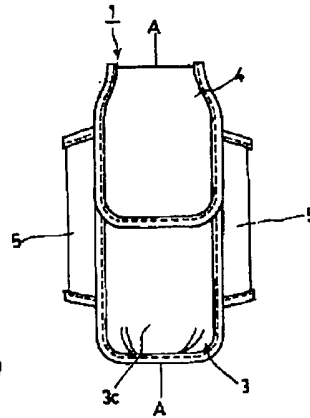
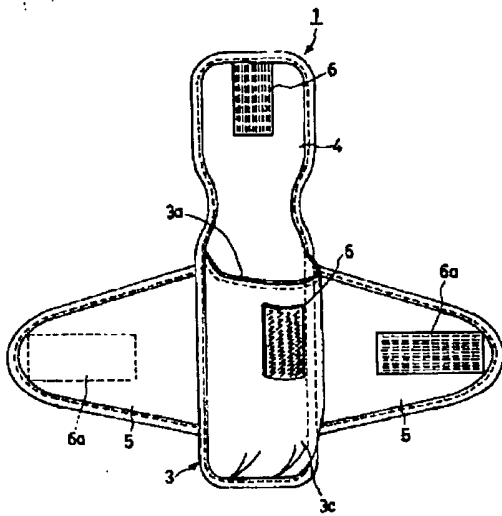
- 1 携帯電話袋
2 携帯電話
3 袋部

- * 3 a 開口部
4 蓋体
5 止着帯
* 6, 6 a ベルベットファスナー

【図1】

【図2】

【図3】



【図4】

